

## 2

## 専門家に聞いてみよう！

実施校：碧水小学校（阿蘇市）5年生 ※H23年度モデル校プログラムより

## ■実施概要

碧水小学校の5年生は、現地観察会で火山や草原を見てもっと知りたいと思ったことを文献などで調べ学習をしました。調べてもわからなかったことや、さらに浮かんできた疑問を抽出して、6名の専門家の方々に質問を投げかけ、講義をしていただきました。

火山や動植物、牛など6つのテーマ別に班に分かれて、それぞれ講師の方から子どもたちの疑問に答えていただき学習を深めることができました。

## ■学習のねらい

- ・調べ学習や専門家の話を聞くことを通して、阿蘇の自然について興味・関心を持ち、もっと知りたいという気持ちになる。
- ・子どもたちにとって身近にある阿蘇の草原が、さまざまな生きもののすみかになっていることを知る。

## ■学習の流れ

現地観察会（平成23年10月21日実施）

①教室内学習－45分×3回（3コマ）

## 疑問や興味があることについて調べ学習

- ・調べたいことを列挙（班を作る）
- ・文献による調べ学習（図書館を活用）

- ・10月26日：それぞれの興味に従って8つの班を作り、調べたいことを列挙（1コマ）
- ・12月19日、12月20日：文献を使って班ごとに調べ学習→調べてもわからないことや疑問を専門家へ質問（各1コマ、計2コマ）

②教室内学習－100分（2コマ）

## 専門家に聞いてみよう！

1月20日（金）10:45～12:25（2コマ）  
（テーマと講師）

- ①「火山のでき方等」（14名）池辺伸一郎館長
- ②「火口や火山ガス」（7名）：須藤靖明先生
- ③「哺乳類・鳥類」（5名）：中園敏之先生
- ④「植物」（3名）：稲益親義先生
- ⑤「昆虫」（3名）：寺崎昭典先生
- ⑥「牛」（3名）：市原啓吉組合長

- 10:45 講師の紹介。今日の学習の進め方説明。  
11:00 班に分かれて専門家のお話を聞く（1時間10分）
- ・子どもたちの疑問に講師が答えるかたちで進行。
  - ・時間内に答えが見つからないことは、調べ方を講師が子どもたちに伝える。
- 12:10 班毎の学習終了
- ・各班の代表が学習の感想を発表（15分）
- 12:25 終了

学習のまとめ／壁新聞作成

## ＜実施時期＞

平成23年10月～平成24年1月

## ＜実施時間＞①調べ学習3コマ

②専門家に聞いてみよう！2コマ

## ＜参加者＞5年生（39名）、担任教諭

＜実施場所＞5年生の教室、理科室、パソコン室、家庭科室、図書室

## ＜講師＞

②火口：須藤靖明先生

ほ乳類：中園敏之先生

植物：稲益親義先生

昆虫：寺崎昭典先生

牛：市原啓吉組合長

火山：池辺伸一郎館長

## ＜準備するもの＞①、②ともに

（学校）ワークシート

（子どもたち）前回の学習シート、

クリップボード、筆記用具

## ＜コーディネーター＞

環境省 阿蘇自然環境事務所

## ■実施の様子

### ①火山のでき方や歴史、名前の由来 (3班：計14名)



火山のでき方、阿蘇五岳や米塚などの歴史、山の年齢や名前の由来などについて、池辺館長から子どもたちに質問を投げかけながらわかりやすく説明。

### ④植物 (1班：3名)



阿蘇に咲く花の数や育つ時期、名前の由来など、植物について子どもたちが知りたいと思っていることを、植物リストなどを見ながら学習。

### ⑥牛 (1班：3名)



牛の種類、あか牛の誕生や名前の由来、牛の好きな植物と嫌いな植物の種類などについて、畜産業を営むご自身の体験も交えて解説。

### ②火口や火山ガス (1班：7名)



火口やマグマのでき方、湯だまりの大きさや色、火山ガスの成分、火山灰と地層の関係など、簡単な実験や湯だまりの湯の見本を見せながら解説。

### ③哺乳類・鳥類 (1班：5名)

コミミズクの鳴き声やヤマセミの頭の羽など、鳥の特徴や種類、生息場所、阿蘇にいない動物など、図鑑や画像を見せながら解説。



### ⑤昆虫 (1班：3名)



阿蘇にしかない昆虫、昆虫の名前の由来、毒を持っている昆虫など、調べても分からなかったことをわかりやすく解説。

## ■成果など

- ・子どもたちそれぞれの疑問や興味に対応して、6人の専門家（ゲストティーチャー）から詳しく、わかりやすく教えていただくことができた。
- ・ふりかえりのワークシート記入や発表も積極的に行われ、それぞれの疑問などの解決や阿蘇に対する関心が高まった。
- ・ここで学習したことは、次の壁新聞作成に活かすことができた。

### \*留意点\*

- ・調べ学習で出てきた子どもたちの疑問や興味をもとに、テーマごとに班分けをします。
- ・テーマごとの講義内容は、担当する講師の方々と事前に調整しておく必要があります。